

全国公共図書館協議会

2016年12月12日

(〒106-8575 東京都港区南麻布5-7-13 東京都立中央図書館内)

目次

平成28年度全国公共図書館協議会定期総会報告	1
平成28年度表彰者	3
「資料デジタル化及び利用に係る関係者協議会」の動向	5

= 平成28年度全国公共図書館協議会定期総会報告 =

総会は、平成28年7月8日（金）に東京都立中央図書館において開催されました。
出席者は89名、委任状提出者は695名でした。
議事は、次の事項について報告、協議が行われ、提案どおり承認されました。

1 定期総会議題

協議事項

- (1) 平成27年度事業報告
- (2) 平成27年度決算
- (3) 平成27年度会計監査報告
- (4) 平成28年度事業計画（案）
- (5) 平成28年度予算（案）
- (6) 平成28年度表彰（案）

報告事項

- (1) 「資料デジタル化及び利用に係る関係者協議会」の動向等
- (2) その他



2 平成28年度事業計画

(1) 総会及び理事会

ア 総会

期 日 平成28年7月8日（金）
場 所 東京都立中央図書館

イ 理事会

第1回 期日 平成28年5月31日(火)

場所 東京都立中央図書館

第2回 日時 平成29年1月下旬～2月上旬(書面開催)

(2) 研究集会

日時 平成28年7月8日(金)

場所 東京都立中央図書館

テーマ 利用行動と利用意識から見る「場」としての図書館

講師 愛知工業大学工学部建築学科 教授 中井 孝幸 氏

(3) 調査研究事業及び情報活動等

ア 調査研究事業

平成28年度、29年度の2ヵ年計画で「公立図書館における地域資料サービス」をテーマとして、調査研究を行う。初年度である平成28年度は、有識者の助言の下、全国の公立図書館を対象に実態調査を行い、報告書にまとめる。

イ 情報活動

ニュースレターを年2回発行する。

ウ 表彰

表彰規程により実施する。

表彰者 103名

(内訳)

図書館職員 76名

図書館長 2名

図書館協議会委員 25名

3 決算及び予算

(1) 平成27年度決算

収入 済 額 2,407,498円

支出 済 額 800,376円

繰越 額 1,607,122円

(2) 平成28年度予算

予 算 額 3,118,822円

平成28年度 全国公共図書館協議会表彰者

1	加藤	ひろみ	(北海道)	32	曾木	聡子	(千葉県)
2	澤口	祐子	(岩手県)	33	西川	美恵子	(千葉県)
3	上田	真奈子	(宮城県)	34	梨本	和彦	(千葉県)
4	仲松	敏子	(宮城県)	35	嶋田	育子	(千葉県)
5	小室	友嗣	(秋田県)	36	村上	淑子	(千葉県)
6	三瓶	真二	(福島県)	37	川津	敏子	(千葉県)
7	武田	早苗	(茨城県)	38	高橋	正名	(千葉県)
8	石津	博康	(茨城県)	39	村上	清子	(東京都)
9	新村	美枝	(栃木県)	40	小形	亮	(東京都)
10	橋本	文雄	(群馬県)	41	小島	薫	(東京都)
11	佐藤	信明	(埼玉県)	42	榎本	由美恵	(東京都)
12	蓮見	博	(埼玉県)	43	高鷲	忠美	(東京都)
13	水澤	祐子	(埼玉県)	44	上村	千恵子	(東京都)
14	尾崎	尚子	(埼玉県)	45	岡野	知子	(東京都)
15	酒井	雅之	(埼玉県)	46	上田	直人	(東京都)
16	花形	悦子	(埼玉県)	47	加藤	利雄	(神奈川県)
17	高橋	優子	(埼玉県)	48	金山	伸之	(神奈川県)
18	茅野	雪彦	(埼玉県)	49	足立	匡子	(神奈川県)
19	水澤	弘幸	(埼玉県)	50	内田	美加	(神奈川県)
20	佐藤	久美	(埼玉県)	51	山下	朝子	(神奈川県)
21	富田	芳江	(埼玉県)	52	山本	幸子	(富山県)
22	新山	順子	(埼玉県)	53	坂元	亨	(富山県)
23	山下	和彦	(埼玉県)	54	村本	雅美	(富山県)
24	竹内	勘次	(埼玉県)	55	上島	進	(石川県)
25	田中	真由美	(埼玉県)	56	早苗	忍	(福井県)
26	鶴見	幸嗣	(埼玉県)	57	飯沼	典子	(山梨県)
27	宮井	さゆり	(埼玉県)	58	外川	豊子	(山梨県)
28	廣部	紀美子	(埼玉県)	59	三澤	麻須美	(山梨県)
29	総山	真貴子	(埼玉県)	60	関口	幸恵	(山梨県)
30	中浴	佳男	(千葉県)	61	山本	政雄	(山梨県)
31	小西	匡子	(千葉県)	62	岡部	なぎさ	(愛知県)

63 和佐田 祐子 (愛知県)
64 安藤 さつき (愛知県)
65 鈴木 聡子 (愛知県)
66 今枝 三枝 (愛知県)
67 続木 桂之 (愛知県)
68 加藤 道隆 (愛知県)
69 清水 律子 (愛知県)
70 石田 一美 (滋賀県)
71 川端 恭子 (滋賀県)
72 中村 卓之 (滋賀県)
73 三田村 悦子 (滋賀県)
74 細江 喜三郎 (滋賀県)
75 池田 澄美 (京都府)
76 森脇 祐美 (京都府)
77 生駒 彩子 (京都府)
78 三島 美幸 (大阪府)
79 山岡 直子 (大阪府)
80 北 克一 (大阪府)
81 榎 加奈子 (大阪府)
82 宮田 英二 (大阪府)
83 櫻井 陽子 (大阪府)
84 福島 理恵 (大阪府)
85 成川 直子 (兵庫県)
86 上野 弘子 (兵庫県)
87 田野 一哉 (兵庫県)
88 井田 あゆみ (奈良県)
89 認田 隆信 (和歌山県)
90 竹中 しづ子 (和歌山県)
91 荒尾 央子 (和歌山県)
92 足立 茂美 (鳥取県)
93 森山 光良 (岡山県)
94 天野 律子 (岡山県)

95 中村 順子 (岡山県)
96 江澤 眞理子 (徳島県)
97 越智 つや子 (愛媛県)
98 二宮 文栄 (愛媛県)
99 山下 栄子 (愛媛県)
100 入江 英昭 (愛媛県)
101 有馬 求 (鹿児島県)
102 山口 敬子 (鹿児島県)
103 作城 綾乃 (鹿児島県)

表彰者総数	103名
(内訳)	
図書館職員	76名
図書館長	2名
図書館協議会委員	25名

「資料デジタル化及び利用に係る関係者協議会」

平成 28 年度の開催状況、協議内容等は以下のとおりです。

【開催状況】

平成 28 年度第 1 回 平成 28 年 5 月 30 日（月）

【主な報告事項】

1 資料デジタル化の進捗について

デジタル化資料の累積提供状況について、図書約 90 万 3 千冊、雑誌約 123 万 7 千冊となった旨の報告がありました。

また、明治以降に刊行された図書・雑誌のうち、インターネットで閲覧可能なデジタル化資料を提供してきた近代デジタルライブラリーが、今年の 5 月末をもってサービスを終了しました。そこで提供されてきたデジタル化資料は、引き続き国立国会図書館デジタルコレクションでの利用が可能です。

2 平成 26 年度補正予算による資料デジタル化の実施状況について

「災害対応力強化」に資する目的で、以下の事業を実施したとの報告がありました。

- ・ 地方自治体が刊行した地域資料を中心に、震災・災害等をテーマにした文献等のデジタル化の実施。
- ・ 本文テキスト検索を可能とする仕組みの開発（対象：官庁出版物、学術論文）

3 図書館向けデジタル化資料送信サービスについて

(1) 資料点数（平成 28 年 5 月 10 日現在）

- ・ 図書約 50 万 5 千点、古典籍約 1 万 9 千点、雑誌約 1 万 1 千点、博士論文約 11 万 7 千点

(2) 実施状況

- ・ 平成 28 年 4 月 30 日時点で、すべての都道府県立図書館が参加。
- ・ 閲覧、複写ともに、市区町村立図書館や大学図書館の利用割合も徐々に増えてきている。

(3) 広報活動

平成 27 年度に参加・利用方法に係る説明会を全国 10 図書館で開催するとともに、千葉、石川、大阪、福岡の 4 府県立図書館から意見聴取を実施した。

その他、『国立国会図書館月報』や国立国会図書館ウェブサイトを使って広報を実施。

(4) 資料デジタル化基本計画 2016 - 2020 について

平成 28 年度から平成 32 年度までの 5 年間にデジタル化の対象とする所蔵資料及びそのデジタル化の方法等についての考え方を示す計画。

「デジタル化の目的」、「デジタル化の対象とする範囲」、「デジタル化対象資料の選定」、「本計画中にデジタル化を進める資料群・対象範囲」等の項目があり、具体の資料群としては、雑誌、図書、古典籍、録音・映像資料、博士論文、憲政資料、日本占領関係資料、地図資料のデジタル化を進めていく。

このほか、東日本大震災においてその重要性が明らかとなった過去の災害の教訓を確実に後世に伝えるため、災害の記録等についても、引き続き、優先的にデジタル化を進める。